

鶴岡市立大泉小学校6年生 & 鶴岡養護学校小学部6年生《活動の様子》

- ・30年間積み上げてきたノウハウを学校で共有しながら、毎年度子どもたちに合わせた目標を設定し、活動内容を計画
- ・令和6年度の6年生は鶴岡養護学校が考案したゲームやお互いの発表等を通して年に1回交流
- ・交流の前後でビデオメッセージやお礼の手紙等の間接交流を実施
- ・1年生から6年生まで継続して交流（2・4・6年：直接交流、1・3・5年：間接交流）

大泉小学校



僕たちの顔が分かった方が安心するだろうな。クラスを紹介するビデオを撮って送ろう！



どんな子たちがいるんだろう。仲良くなれるかな・・・

玄関で出迎えてくれて、自己紹介でも色々教えてくれた。親しみやすくてよかった！



パズルをあっという間にそろえてすごいな。ゲームで使っている道具もすごいものを作ったな。

鶴養の子たち緊張しているみたいだけど大丈夫！次の番の僕に任せて！

緊張したけど楽しかった！先生と友だちにお礼の手紙を書こう。また交流できるかな。

事前学習



当日



ゲーム中、緊張した様子の鶴養児童の背中を軽く触ったり励ましの言葉をかけたりして温かい雰囲気で見守る。

事後学習



鶴岡養護学校

大泉小の友だちに会えるのが楽しみだな！私たちのクラスは踊りが好きだから、踊りを披露しよう。準備も頑張るぞ！

朝の会で流れを確認したから見通しがもてたよ。リハーサルもばっちり。

【鶴岡養護学校 担任より】大泉小の皆さんようこそ！鶴養のみんなでもとても楽しみにしていました。今日のゲームではみんなで成功を目指しましょう！

特技のパズルを披露したらたくさん拍手をもらった！嬉しいな。

ゲームで活躍できた！グループのみんなとハイタッチしよう。

友だちになれて楽しかったな。お礼の手紙を書こう。また会いたいな。

〈大泉小学校 教員の声〉

- ・交流の場面では、「みんな仲間」という雰囲気を日常以上に感じます。普段と違う児童の姿を見ることができず。
- ・児童の親世代から続いているもので、学校行事として定着しています。お便りを通して、保護者や地域へも発信しています。長く続けていくために、交流内容や回数等の見直しを行いながら取り組んでいます。

〈鶴岡養護学校 教員の声〉

- ・交流及び共同学習のよさが続いていくように、学部内で意見を出し合うことや引き継いでいくことを大切に、教職員間でノウハウを共有しています。
- ・全学年で交流があるため、児童は過去の交流を覚えており、次の機会を楽しみにしています。
- ・普段の活動の延長線上の活動で、大泉小の子どもたちと楽しさを分かち合う内容を設定しました。
- ・交流をきっかけに、特別支援学校の教員を目指したという教育実習生もいました。